



にこにこ2020

NO. 24



「夢・笑顔・元気」そして「あいさつ」があふれる幡羅小学校

昔遊びの会～昔遊びをとおして、先生や友達と笑顔で交流しました～

先日は、「昔遊びの会」を実施しました。今年の講師は、教頭先生と高田先生、小沼先生、1年生担任です。めんこ、おはじき、お手玉、はごいた、あやとり、こま、ふくわらい、紙でっぼう、けん玉、竹馬をグループに分かれて体験しました。「幼稚園や保育園でやったことあるよ」という子も「はじめてやるよ」という子もいました。どの子も目を輝かせて、夢中で遊びました。





はじまりのかい



おわりのかい



会の最後に、教頭先生が竹馬で登場！ジャンプしたり回ったり後ろ向きで乗ったり……。さらに、子供たちの前でけん玉を一発成功。教頭先生の華麗な技に子供たちは目をキラキラさせて、歓声をあげていました。

11月9日～12月4日まで人権月間でした～だれもがみんな幸せに生きること～

詩人である金子みすゞさんのこんな詩をご存知ですか。子供たち一人一人がもっている個性や人権について改めて考えてみてください。

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのように、

じべた
地面を速くは走れない。

わたしがからだをゆずっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのように、
たくさんうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。



学校には、運動が得意な子、計算が苦手な子、漢字が得意な子、歌が上手な子、友達を笑わせるのが好きな子、雑巾がけがていねいな子、大きな声の子、恥ずかしがり屋の子……。いろいろな子がいるのです。体の大きさも、声の大きさも、家庭環境も様々です。噂や見た目、子供からの話だけで「あの子は・・・」と判断したり、口に出したりしていませんか。苦手なこと、つらいこと、大変なことに直面して、問題行動を起こしていたとしても、それがすべてではありません。それはほんの一面で、必ずよいところがあります。「みんなちがってみんないい。」これは、まさに人権尊重の表れです。

子供は、友達のよいところを見つける名人です。もしお子さんが、友達のよいところを発見し、家でお話してくれた時には、「素敵な目をもっているね。」とたくさん褒めてあげてください。保護者も子供も一緒に育っていきます。クラスは変わりますが学年は変わりません。友達と助け合ったり、励まし合ったり、応援し合ったりしながら互いに育っていきます。一人一人が安心して自分の個性を発揮し、活躍できる居心地のよい学年にしていましょ。ご理解協力をよろしくお願いします。

体育着の着方について

- ・ジャージを用意していただきありがとうございました。ジャージの下には、体育着を着用します。半袖の体育着から長袖の下着が出ないように、下着は半袖のものを着るようにしてください。また、レギンスやタイツは、体育の時にははいてはいけないことになっています。靴下の着用をお願いします。

